

例会報告 Rotary



第2758回例会
令和6年10月25日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 田中 晶洋
- 会報委員長 阪下 六代

会員スピーチ

<会長の時間>

ドジャーズがリーグ戦を勝ち抜き 26 日からメジャーリーグのワールドシリーズがはじまりました。大谷選手のケガが心配ですが、皆さん試合を楽しみにしておられると思います。

日本のプロ野球は原則4人という外人枠がありますが、アメリカのメジャーリーグには外国人枠はありません。メジャーリーグ全体でみると登録選手の約28%が外国人選手だそうです。海外から優秀な選手を集め強いチームを作り、素晴らしいプレーをする、これが大リーグです。外国人が増えると自国選手の数が減るという問題がありますが、マイナーリーグの厳しい競争の中から選手が育つ工夫があるそうです。

スポーツに限らずアメリカの文化や経済は、多様性の尊重の中から生まれてきた、と思います。「移民国家」であるアメリカは多様性を大事にする国で、経済発展はこのような中から生まれてきたと思います。

このことは現代の企業の多くが経営戦略の一つとして DEI※を採用していることにつながります。

以下の記述は日立のホームページに記載されている文章です。

『DEI はイノベーションにつながり、新たな技術やソリューションを生み、人々の生活を向上させます。さらに、企業の業績を向上させ、新たな事業や雇用を生み出し、世界経済を支える役割を果たします。その結果、DEI を推進している企業は若い優秀な人財を惹きつけ、世界のより良い未来を切り開くことができるでしょう。』

ロータリークラブも組織のイノベーションを図るとともに、人材を獲得するためには DEI を推進する必要があると思います。

※DEI とは … 「DEI (ディー・イー・アイ)」は、「Diversity (ダイバーシティ、多様性)」、「Equity (エクイティ、公平性)」、「Inclusion (インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称です。

企業経営において、社員それぞれが持つ多様な個性が最大限に活かすことがより高い価値を生み出すという認識が近年広がっています。

<幹事報告>

◎ガバナー、地区職業奉仕委員長より

- ・職業奉仕委員会研修セミナー 開催のお知らせ
日 時 11月30日(土) 12:00 昼食・名刺交換、
13:00 点鐘、16:30 終了
- 場 所 名鉄グランドホテル
- 参加要請 職業奉仕委員長

<例会変更>

- 高山 … 11月7日(木)は、紅葉同伴例会のため、
18:30~ ホテルアソシア高山リゾートに変更
- 高山中央 … 11月4日(月)は、法定休日のため、休会
11月11日(月)は、濃飛グループIMのため、
9日(土) 高山グリーンホテルに変更
11月18日(月)は、定款により 休会

- 美濃加茂 … 11月8日(金)は、濃飛グループIMのため、
9日(土) 高山グリーンホテルに変更
- 11月15日(金)は、例会場変更のため、
脈済寺ゴルフ場に変更
- 11月29日(金)は、定款により休会

<受贈誌>

会報(高山RC、高山中央RC)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol295)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
26名	-	26名	36名	76.47%



10月25日誕生日 長瀬 達三さんへ
誕生日記念品 贈呈

<本日のプログラム> 会員スピーチ

熊谷 高志

10月から、前任の中島の後任として西ロータリークラブに参加させて頂いている熊谷です。ロータリークラブに入るのは初めてで勝手がまだよく分からず、また入会早々に、このような機会を頂き大変恐縮ですが、皆様に少しでも人となりを知って頂ければと思い、スピーチさせていただきますので、よろしくをお願いします。

私は昭和39年の生まれで、今年60歳になりました。先日は、入会したばかりなのに誕生日のお祝いを頂き、ありがとうございました。因みに、同じ昭和39年に生まれた有名人では、タレントの出川哲郎さん、薬師丸ひろ子さん、落語家の林家たい平さん、スポーツ選手ではマラソンの増田美奈さん、少し変わったところでは、アメリカの大統領候補のカマラ・ハリスさんなどがいるようですが、もちろん何の関係もありません。

私は生まれたのは岩手県の陸前高田市というところで、岩手県と宮城県との県境にある太平洋に面した町ですが、今から13年前、2011年の東日本大震災の際にはマスコミに大きく報道されたので、ご記憶にある方もいらっしゃるのではないかと思います。



例会報告

私の実家も地震による津波で跡形もなく流されました。今は整地され、きれいになっていますが、実家のあった場所に立つと、「ああ、ここで生まれたんだなあ」と感慨もひとしおです。お陰様で地震の直後、両親は間一髪、高台に逃げて無事でした。私はその時は東京の新宿で勤務していたのですが、地震の発生後から携帯電話などの通信が途絶え、ずっと連絡がとれませんでした。やっと5日後になって、避難所の衛星電話で両親の無事が確認できた時には、本当に嬉しく安心しました。

私の実家は海の近くにあったため、私が生まれる前にも大きな津波があり、私も子供の頃、津波警報が出て真夜中にたたき起こされて、高台に避難したことが何回かあります。ですので、うちの家の周りの地域は大きな地震があったらすぐ逃げるという習慣が染みついていて、比較的逃げられた人が多かったようです。一方、市内中心部の地域はこれまで津波に見舞われたことがなく、地震があってもすぐ逃げるという意識があまり薄かったようで、残念ながら多くの被害が出てしまいました。

その後両親は、仮設住宅での生活を経て、高台の土地に家を建てましたが、仮設住宅にいた時、全国あるいは海外も含め本当に多くの支援を頂いたことを感謝しています。食べ物のもとより、衣服や生活用品などの支援物資、また歌手やいろんな方が慰安訪問され、両親や親戚がどれだけ勇気づけられたか分かりません。本当にありがたかったです。

先日、業界の集まりで石川県の和倉温泉を視察する機会があり、被害を受けられた施設の中を見させて頂きましたが、被害の大きさに言葉を失いました。また、その後の地元の観光協会の方のお話の中では、大きな災害で大変なご苦労が続いている中でも、何とか将来の復興に向けて希望を捨てず懸命に頑張られている姿に、思わず当時の状況が思い出され、何とか頑張っていきたいという思いで一杯でした。自分にできることは多くはないかもしれませんが、今後何らか役に立てることをしていきたいと思っています。

少し話が重くなってしまいまして、すいません。話を戻すと、私の生年月日は昭和39年10月10日で、くしくも前の東京オリンピックの開会式の日だったそうです。その日は、前日の大雨から一転して秋の青空が広がり、ブルーインパルスが東京の空に五輪の輪を描いたそうです。当時、両親はオリンピックの日生まれた男の子供ということで、五輪の男と書いて「五輪男」と名付けようかと思ったりしますが、さすがにそれはどうかということで、最終的には、オリンピック選手団の一人の人の名前がタカシということで、タカシと名前を付けたとのこと。後からその話を聞き、若干ほっとしました。お知り合いの方に、五輪男さんという方がいらっしゃったら、すいません。

また、実家は酒屋（造り酒屋ではなく、売るほう）をやっており、子供の頃は盆暮れの忙しい時期などは、酒の箱詰めや陳列の補充など、店を手伝った思い出があります。実は私の親父はほとんど酒は飲めず、売っている商品の味見程度でしたが、市内に何件かある酒屋の親父連中はほとんどが飲まなかったそうです。一步店に出ればいくらでもお酒があるので、飲むのが好きだとキリがないということでしょうか、

それが何の弾みか分かりませんが、私はお酒は強くはありませんが嫌いではなく、そうした意味でも酒屋は継がなかった？のかもかもしれません。因みに、私はお酒はビール、日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキーなど何でも飲みますが、何が一番好きかと聞かれると、やはり日本酒です。今年の6月から高山に単身赴任しておりますが、高山は美味しいお酒が数多くあり、店で売っている銘柄をいろいろ

と試しているところで、私にとっては天国のような所と思っています。因みに、飲んでも暴れたりはしませんので、今後機会がありましたら、飲み会などお誘いください。

話が脱線してしまいましたが、実家には中学生までいて、高校時代は同じ岩手県の県庁所在地の盛岡市というところで3年間下宿生活をしました。今は下宿という言葉は死語に近いですが、当時は朝ごはんと夜ごはんの2食賄付きの下宿というのがまだあった時代です。部屋の広さは4畳半一間、風呂はなく銭湯に行くということで、今では考えにくいかもしれませんが、同じような男子高校生が10人ばかり同じ屋根の下に住む下宿生活は、それはそれは楽しい時間でした。友達の部屋で夜通ししゃべったり、人気の歌手のレコードやカセットテープを貸し借りしたり、試験の後の打ち上げと称してバカ騒ぎをして怒られたり、門限が過ぎた後、大家さんの目を盗んで夜こっそり抜け出してボウリング場に行ったり、等々数えればきりがなくらい、楽しい高校生活でした。

因みに、盛岡は盆地のため夏は暑く冬は相当寒く、マイナス10度近くになることもありました。雪もたくさん降ります。夜、銭湯に行くと帰ってくる頃には、洗った髪の毛が凍ることもざらで、歌の「神田川」の世界のようでした。高山も冬は寒いぞと、いろんな人から脅かされていますが、盛岡にいた時代からだいぶ年月も経っていますので、ちょっと戦々恐々といった感じています。

高校を卒業した後は、大学で東京に出ましたが、今でも覚えているのは、上京直後に東京で食べた刺身定食が美味しなかったこと、私の育ったところは海沿いのため、魚はとて新鮮だったので、余計そう思ったんだと思います。また夏の猛烈な暑さにも苦労し、飲み物ばかり飲んで腹をこわすことが多く、1年目の夏はさんざんな思いをしたことが思い出されます。また、当時は方言もコンプレックスで、今のように地方出身者でもそれなりに標準語を聞いたり話したりする機会がそれほど多くなかったせいもあり、例えば〇〇じゃん、などという言葉を使うのが気恥ずかしかったです。その当時から、大阪出身の友人などは平気で関西弁をしゃべるのを聞いて、その度胸を羨ましく思ったものです。今はこうしたことは昔ほどではないと思いますが、高山の方は東京など都会に出た時、どのような感覚なのか、また何かの折に話を聞かせて頂ければと思います。そして、大学を卒業後、京王電鉄に入社し、社会人生活を送ってきました。以上が私の生い立ちで、つまらない話を長々としてしまいましたが、まだ時間があるので、会社生活での仕事の内容などを、少し話したいと思います。

1987年（昭和62年）に京王電鉄に入社しましたが、若い頃は広報宣伝の仕事や、流通事業やホテル事業などグループでやっている事業の企画などの仕事をしました。少し変わったところでは、1997年から2年半ばかり、英国のロンドンに駐在していました。当時、ロンドンの中心部に京王グループの駐在員事務所があり、京王電鉄と京王プラザホテル、京王百貨店の3社から一人ずつ駐在員が出て、プラス現地のイギリス人秘書の4人の事務所でした。仕事の内容は、ホテルの人はヨーロッパ各国をはじめとした海外セールス、百貨店の人は日本で販売する商品の買い付けということで分かりやすいのですが、私は主に英国をはじめとしたヨーロッパのビジネス関係の情報収集や、海外企業のM&Aの検討、そして日本からの出張者のアテンド（これが実は一番大変）などで、はたから見ると何をしているのか、非常に分かりづらい訳です。よくイギリス人の知り合いからは「鉄道は日本が世界で一番進んでいる国だと聞いているが、熊谷はロンドンで何をやっているのか？もしかして日本政府のスパイではないか？」などと冗談でよく言われていました。

例会報告

また英語での生活には当初大変苦労しました。当時、当社は駐在員を選ぶ基準は妻帯者であるということだけ（欧米は様々な社交、付き合いの場は夫婦同伴が基本）で、英語力は特に問われないという、ある意味大変いい会社？でした。駐在員を選ぶ際の面接で、当時の人事課長に「君は英語は話せるの？」と聞かれ、「これから頑張ります」と答えたくらいですので、推して知るべしです。今は翻訳の機械やAIが発達していますので、そこまでの苦労はないかもしれませんが、やはり英語は喋れるにこしたことはないのもっと真面目に勉強しておけばよかったと思います。

2000年にロンドンから日本に帰国し、その後は、主にはホテル関係の仕事が長く、先日の自己紹介の時にも少し話しましたが、プレッソインという現在東京都内で10店舗ほどあるビジネスホテルチェーンの立ち上げや、京王プラザホテルとプレッソインの中間価格帯のホテル（京王プレミアホテル）の開発、また実現しませんでした海外、特に東南アジア地域での都市型ホテル開発の検討などの仕事をさせてもらいました。直近では2020年に京都の京王プレミアホテル（五条と四条の間、烏丸通沿い、300室）の運営で、京都に駐在していました。当時はコロナの真ただ中でしたので、今では考えられないガラガラの京都で、繁華街の飲み屋もほとんど休業していましたので、休みの日はやることなく、趣味と仕事を兼ねて、唯一開いていると言っている、お寺巡りをしていました。どこに行っても観光客はほほいなく、ゆっくりと静かに見ることができたのは今となっては貴重な経験でしたが、逆に祇園や先斗町などには当時あまり行けなかったのは心残りです。

また高山との関わりを申し上げますと、20代の時に妻と二人で旅行で来たのが初めて高山を訪れた時でした。ちょうどGWの時でしたが、なんて街並みと緑がきれいな町なんだろうというのが第一印象で、宮川の朝市でいろんなものを買い込んだのを今でも覚えています。

仕事の関連で言いますと、コロナ前の2019年頃ですが、当社は以前から新宿から高速バスが高山まで来ていることもあり、インバウンド客を高山に送客するという仕事をしていました。京王線の電車の始発駅である新宿駅の地下街に中部地方の観光案内所を作り、高山市をはじめ中部地方の各自治体のPRブースを出してもらったり、特産品の販売イベントをやったり、高速バスや電車のチケットを販売したりなどです。また朝採れた高山の新鮮な野菜を高速バスの車両に積んで新宿まで運び、東京にある当社のスーパーで売ったり、新宿の京王百貨店で高山物産展をやったり、などなどとても多くの高山関係の仕事をさせてもらいました。

その関係で、当時ちょくちょく高山には出張で来ていて、その時、市役所の方や観光協会の方など色々な方々と仲良くさせて頂きました。皆さん、とても温かい方が多く、食事や酒も美味しく、自然は豊かで、なんて良いところなんだろうと思っていました。今回、高山に赴任させて頂くことになり、内示を聞いた瞬間は、これでまた高山に行ける！と思いました。

今はグリーンホテルで仕事していますが、高山西ロータリーの皆さまには日ごろから大変お世話になりまして、誠にありがとうございます。高山のことをもっともっと勉強し、皆様に愛され続けるホテルであるよう、頑張ってみますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

大変拙い自己紹介がいのスピーチにお付き合い頂きまして、ありがとうございました。今後、どうぞよろしくお願いいたします。

<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、塚本 直人さん、田中 晶洋さん

残暑とも思える日が続いています。体調管理の難しさを感じる今日この頃です（病気はコロナだけではありません）。アメリカでは明日からメジャーリーグの世界シリーズが始まります。大谷選手の活躍を楽しみにしたいと思います。

●熊谷 高志さん

今日はスピーチをさせていただきます。拙い話で申し訳ありませんが、お聞きいただければと思います。よろしくお願い致します。

●塚本 直人さん

ようやく紅葉が始まりました。先日会長代行の時間で皆さんにお話しした「自転車で岐阜に行く」という難題に13日に挑戦し、無事目標達成しました。帰りは自動車に自転車を積みせせらぎ街道の紅葉を少しだけ楽しみました。往復の挑戦は来年以降に取っておきます。良い報告が出来ました。ありがとうございます。

●下屋 勝比古さん

前の3号に続き、孫4号が21日に誕生しました。陣痛が始まって2時間の安産でBoyでした。体力と財力溢れるじいじを目指します。

●岡田 賛三さん、田近 毅さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、田中 晶洋さん、杉山 和宏さん、井口 大輔さん、佐藤 貴史さん

昨日10/24はプロ野球ドラフト会議でした。スター選手、大谷翔平を夢見る若者たちの分岐ストーリーがありました。そして今日からは日本シリーズ、明日からはワールドシリーズが始まります。観戦だけでもスポーツの秋を満喫して楽しみましょう。P.S.いよいよ今週末10/27は高山地区6クラブ対抗ゴルフコンペです。目指せ入賞。参加される8名、当西クラブのメンツのため自己ベスト目指して頑張りましょう！！

